

第16号 響の杜

園長のつぶやき

笑顔が消えないように

新しい世界に飛び込むとき、人は不安と希望の両方を抱えている。未知の領域に入る緊張感は半端ない。自分はここでやっつけられるだろうか？人とうまくやれるだろうか？

そんなぐちゃぐちゃな心を持ちながら、それでも何かを期待している。

入所する子ども達も新入職員も、戸惑いながらも明日を信じて、明日に夢を描いている。みんなどこかキラキラしている。半年が経つとそのキラキラが何か別なものに変わっていく。自信に変わるか劣等感に変わるか、それとも諦めに変わるか。いずれにせよこれ乗り越えれば、この先、世

界が大きく変わっていくことは間違いない。

四月の温かい春の日差しを受けて、心も花を咲かせるために頑張ってきた私たち。秋から冬に向けて寒さに負けずじつと耐えていけるだろうか。

人生は山あり谷あり。響の子どもたち、職員がこの奇跡の出会いを大切に、ずっとずっと笑顔が消えないように、そう願って日々を過ごしている。

新型コロナウイルスと闘ってこられた、医療従事者の方々に負けないように、私たちも様々な困難を乗り越え、笑顔いっぱい響の杜にしたい。

そして今、施設の空気を待っている子どもたちがたくさんいると聞く。子どもたちを支えてくれる職員がいないと何もできな

い。子どもたちを支えるために職員を全力で支えていく。

子どもたちや職員の笑顔が消えないように……八年目の私の決意。

千葉みらい響の杜学園

施設長 渡部靖久



夏の思い出



昨年に引き続き、今年もコロナ禍の影響で行事も中止せざるを得ない状況となりました。しかし、響の夏休みといえば、「夏のキャンプ」それだけは実施しようというので、昨年同様、キャンプ場を貸し切って行いました。子ども達と職員が共に成長出来る行事なので、実施出来て良かったと思いました。また、感染対策に気を付けて、ナゾやかですが、夏祭りも行いました。夏の季節感を味わうことが出来ました。子ども達に夏の思い出について聞いてみました。

僕はこのキャンプを通して、様々なことを学びました。キャンプでは、グループのリーダーになり、上手くみんなをまとめられるか心配でしたが、協力があったため、乗り越えることができました。協力はすごく大切だなと思いました。

最後に自然についてです。自然の中はいつもの生活とは違い、暑くてあまり何もできずに不便です。なので、響での生活はすごくありがたい事だということが知れて良かったです。

中三 F・Y

～協力の夏！

with コロナ！～



僕がキャンプを通して感じたことは、協力することは大切ということです。キャンプも一人でも何か進めるより皆の協力があるから最高のキャンプになったと思います。

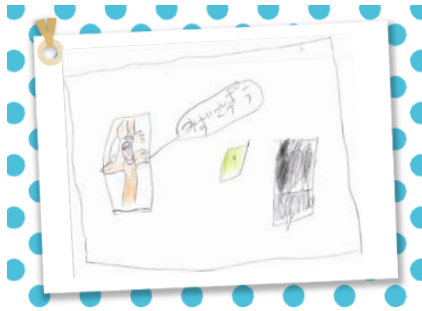
今、コロナ禍で感染者数も増えているのに外出する人がいます。皆で協力してコロナ感染者数をこれ以上増やさないようにしましょう。なので不要不急の外出はやめましょう。これも協力です。

キャンプで学んだことをこれからの生活でも活かしていけるようにして、今後も頑張りたいです。

中三 T・K

みんなで大ジャンプ！





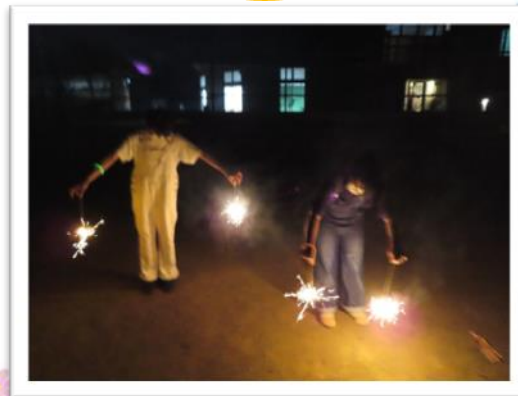
水でっぽうで
たくさんあそんだよ！

「じいじは」コロナのせいで子ども会キャンプ
でおとまりをするのができませんでした。
でも、デイキャンプという事で地いきの皆で
んといっぱい遊ぶ事ができて良かったです。
その中でも水でっぽうが一番楽しかったで
す。大人もいっぱいはいしゃいでいました。今も
その水でっぽうを大切にしています。

小四 T.S



響野球や響夏祭り！
思い出が
たくさんできたね！



HPの紹介



ともに育つ会のHPにて、響の杜学園の行事の様子やお知らせなどが掲載されています。
【千葉みらい響の杜学園とともに育つ会】と検索していただき、ぜひご覧になってください。

お礼



響の杜学園以来、たくさんの方々に来園して頂きました。また、数々の寄贈もあり、心からお礼を申し上げます。皆様の温かい贈り物を身体と心で受け止め、子ども達は感謝の気持ちを忘れる事なく日々生活しております。

本来ならば、お名前を掲載してお礼申し上げます

たいところですが、ご迷惑にならないよう差し控えて頂きますことをご了承ください。

編集後記



昨年引き続き、コロナ禍の収束が見えず不安や我慢が募る日々でした。しかし、そんな中でも前向き、笑顔を絶やさない子ども達の姿に、職員は心を向いている場合口ではない「一」とも達にもうって日々を過し、するもまた子ども達にパワーをもらって…その繰り返しです。いつだってピンチをチャンスに変えてしまう子ども達…こんな時だからこそ出来る事を見つけ、子ども達と毎日を大切に過ごしていきたいです。

広報誌ですが、職員の手作りにて作成してお

ります。至らない箇所がありましたら、申し訳ございません。今後ともよろしくお願い致します。

千葉みらい響の杜学園 広報委員会

川名菜由乃・荒井康之

田中友梨・佐藤彩花

志賀日向子

響の杜 第16号
発行日：令和3年11月吉日
社会福祉法人 天祐会
千葉みらい響の杜学園
千葉県千葉市中央区
川戸町92-1
TEL：043-310-6001
FAX：043-310-6002
Email：hibiki@tenyuukai.jp